

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市新市町常1450番地

(3) 業種

綿状繊維・糸染色整理業 1146

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度を基準年度とし、令和3年度から令和8年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、先人より受け継いだ自然の恵みを次世代へと引き継ぐために、環境保全活動を重要課題と掲げ、地球環境負荷の低減、省エネルギーの推進、資源の有効活用を軸として、自主的かつ積極的に行い、持続可能な社会の構築に貢献する。

2 方針

- 環境に関する法令等の順守
- 自然環境への配慮
- 資源、エネルギーの有効活用
- 継続的改善と持続可能な社会形成
- 環境方針の周知と開示

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和2年度	令和2年度
二酸化炭素	4,314	4,314

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(百万kg)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和2年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和8年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	4,314	3	1237.52	-5.0	4,000	3	1299.55
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	4,314	3	1237.52	-5.0	4,000	3	1299.55
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	545.30	5.0	-	-	518.04
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース1%の削減率						

※ 削減率 (d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の原単位を5%削減	ボイラ蒸気圧力の下方調整 配管保温の修繕 蒸気漏れ修理 電気を使用した加温設備の稼働
2	電気使用量の削減	電気の原単位を5%削減	ブロワー設備の更新及び、統合 コンプレッサー設備の統合 冷却設備の更新 空調、コンプレッサーのフィルター掃除
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

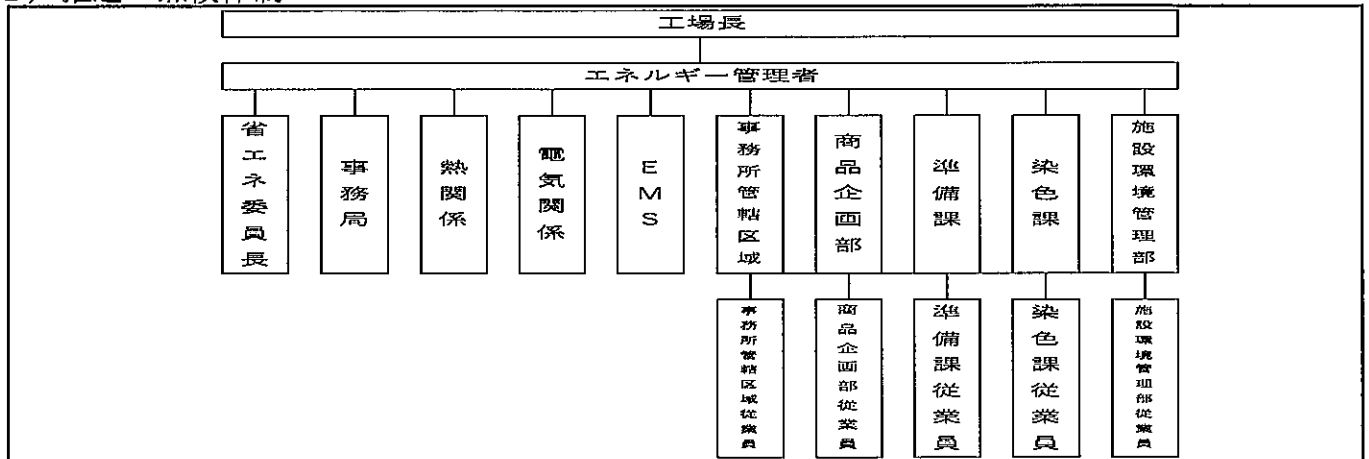
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	クリーン活動	2回/年	・工場周辺の清掃奉仕活動
2	廃棄物排出量の削減		・分別収集及び資源化の徹底 ・コピー用紙の裏面利用
3	処理水の再利用		・設備の水張りに活用 ・設備の循環水として使用

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理者を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、省エネ委員会において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

省エネ委員会を通じ、省エネ委員を介して、従業員に開示する